

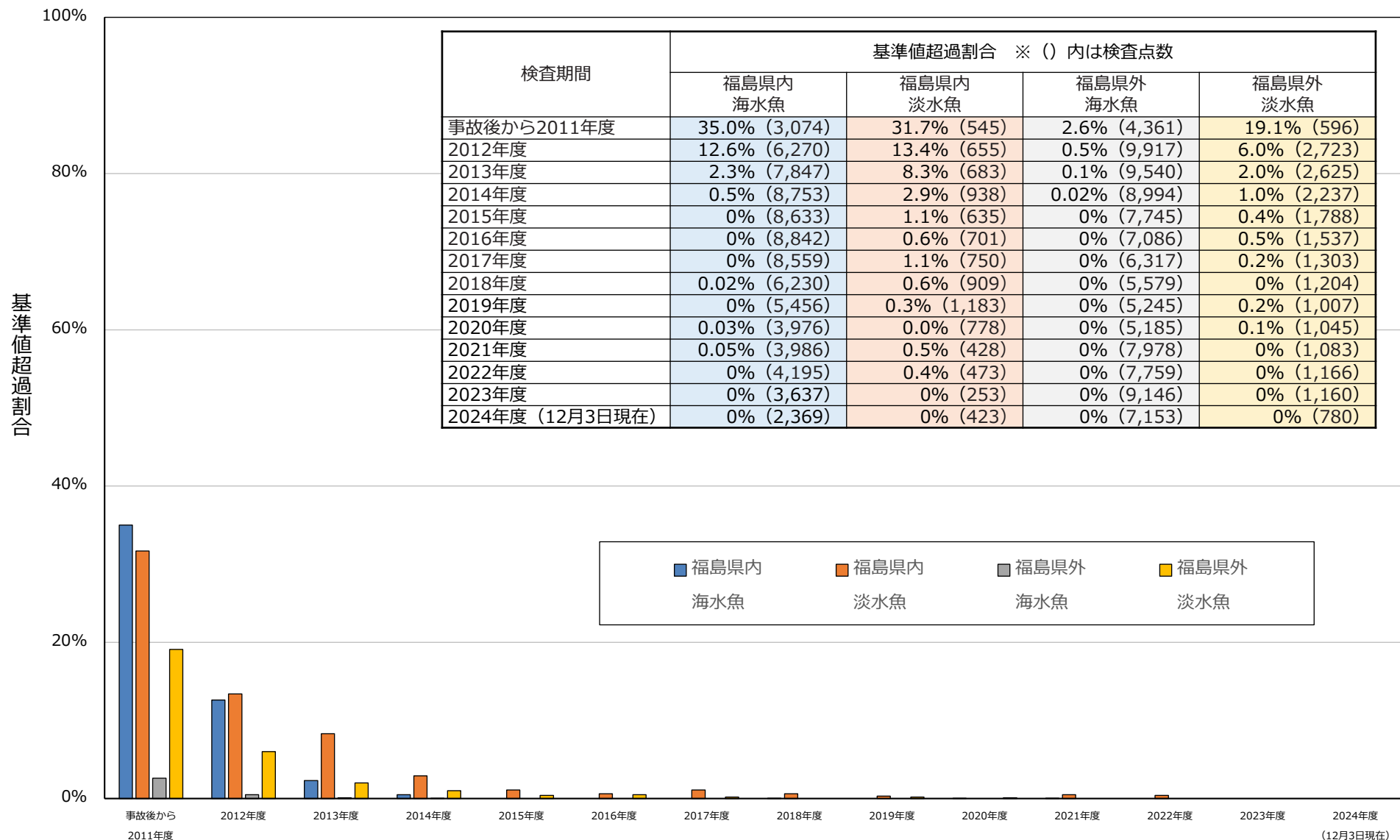
水産物の調査の考え方

- 「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」に基づき、週1回程度検査
 - ・ 50Bq/kgを超えたことのある魚種や主要水産物を中心に調査
 - ・ 近隣県の調査結果を参考

沿岸性魚種等 (例：コウナゴ、スズキ、カレイ等)	水揚げや漁業管理の実態、漁期等を考慮し、県沖を区域に分け、主要水揚げ港で検体採取。
回遊性魚種 (例：カツオ、イワシ・サバ類、サンマ類)	回遊の状況等を考慮して、漁場を千葉県から青森県の各県沖で区分（県境の正東線で区分）し、区域ごとの主要水揚げ港で検体採取。
内水面魚種 (例：ヤマメ・ワカサギ・アユ等)	漁業権の範囲等を考慮して県域を適切な区域に分け、主要区域で検体採取。

水産物

水産物の検査結果の推移



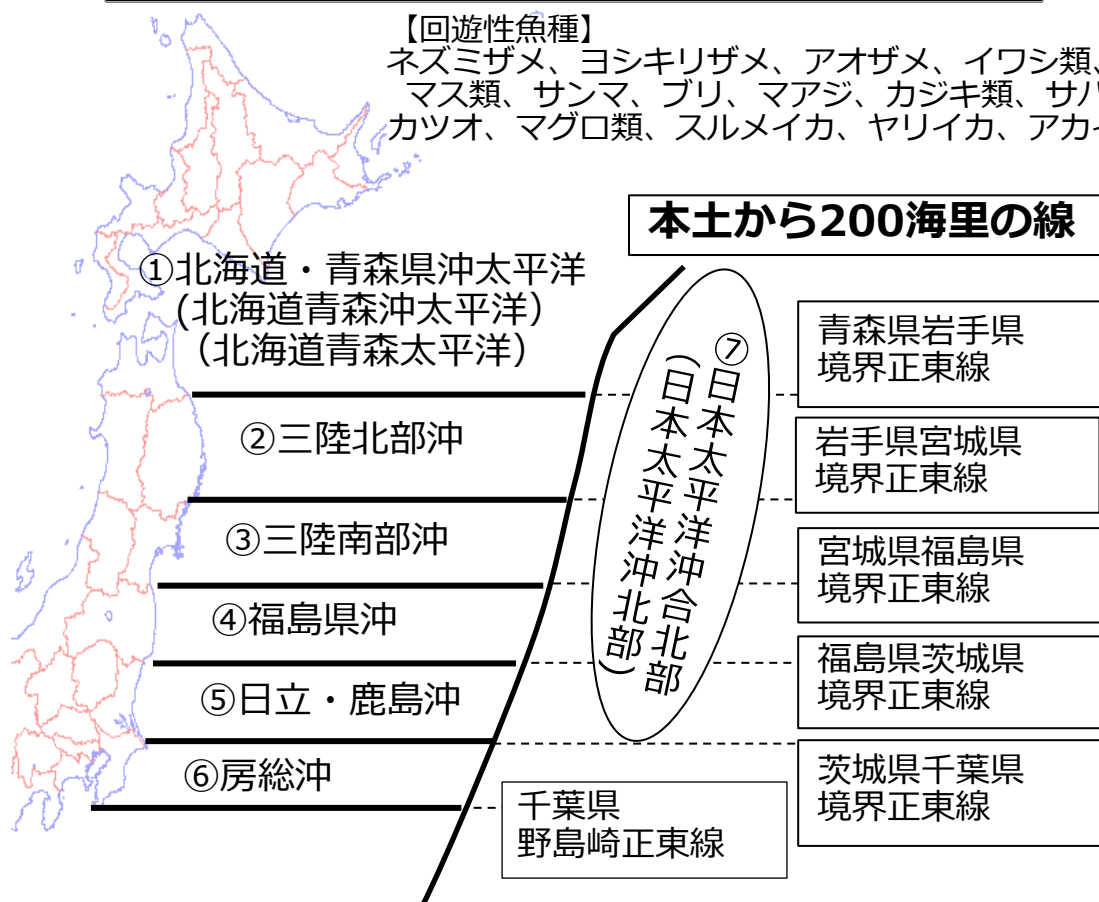
※検査結果の集計対象は、全国。

2011年3月24日から2024年12月3日までの調査結果を水産庁にて集計。

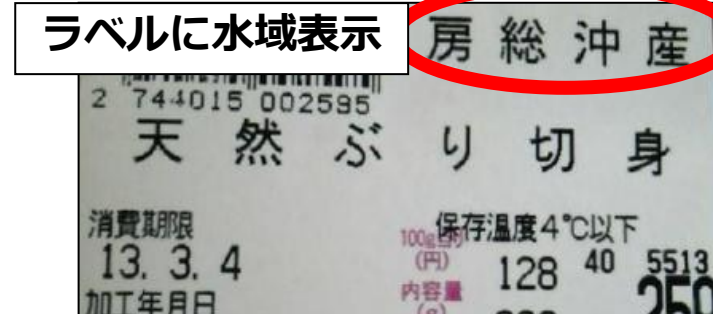
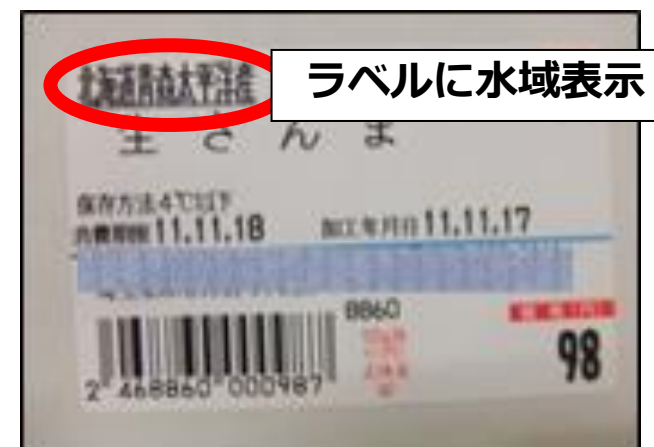
消費者への原産地情報の提供

- 2011年10月から、東日本太平洋側で漁獲された生鮮水産物を中心に、生産水域の区画及び水域名を明確化し、原産地表示を推奨。

回遊性魚種の水域区分図



表示の例



農林水産省

農林水産省「農林水産現場における対応」より作成